

## II 進行・再発予防及び回復支援

### 対策の方向性

- ギャンブル等依存症の進行・再発予防には、早期発見・早期介入が重要であるため、ギャンブル等依存症問題に関係する様々な機関においてギャンブル等依存症である者及びその家族に対する相談支援の体制を整備し、関係機関等との連携により、早期に必要な支援につなげることができる体制づくりを進めます。
- ギャンブル等依存症である者が、適切な医療を受けることができるよう、ギャンブル等依存症に係る専門的な医療の提供等を行う医療機関の整備を行います。
- ギャンブル等依存症である者及びその家族が互いに支えあい、ミーティングや相談を行う自助グループ等の民間団体による活動等について、支援及び連携を進めます。
- ギャンブル等依存症である者等の円滑な社会復帰のため、支援関係者へギャンブル等依存症問題や相談支援機関・治療機関に関する知識を周知し、ギャンブル等依存症問題に対する適切な支援を図ります。

## 1 相談支援

### (1) ギャンブル等依存症に関する相談支援及び回復支援

#### <現状及び課題>

- 本県及び名古屋市においては、それぞれ愛知県精神保健福祉センター（以下、「県精神保健福祉センター」という。）及び名古屋市精神保健福祉センターこころぼ（以下「こころぼ」という。）をギャンブル等依存症相談拠点とし、依存症相談員の配置、専門相談窓口の開設、さらに市町村、保健所、相談支援事業所及び医療機関等職員を対象としたギャンブル等依存症の関連研修等を実施しています。
- また、ギャンブル等依存症である者を対象に、県精神保健福祉センターにおいては、あいちギャンブル障害回復トレーニングプログラム「ART-G」（詳細はP38参照）を、こころぼにおいては、なごやギャンブル障害回復トレーニングプログラム「NAT-G」（詳細はP39参照）を実施しています。
- なお、県精神保健福祉センターによる「ART-G」について、2021年度から愛知県司法書士会との連携協力のもと、多重債務や消費生活に係る「暮らし相談」とともに実施することで、生活の維持・再建支援にも取り組んでいます。
- このほか、本県、名古屋市及び中核市の保健所等において、精神保健福祉に関する相談窓口の開設により、ギャンブル等依存症に関する問合せや相談を受け付けています。

- 第2期県計画に示したとおり、ギャンブル等依存症相談拠点である県精神保健福祉センター、こころぼそして保健所等により、相談支援及び回復支援を着実に実施のうえ、関係団体との連携協力に基づく治療と生活支援の複合的な取組を展開しています。
- また、2025年基本計画では、電話に加え、多様な手段による相談窓口の設置について検討する必要性が示されています。
- それらを踏まえ、引き続き、相談拠点を要として、相談支援と回復支援の一層の充実に取り組む必要があります。

#### <今後の取組>

- 県精神保健福祉センター及びこころぼそをギャンブル等依存症相談拠点として位置づけ、専門相談窓口等をウェブサイト等により広く県民に周知します。  
〔保健医療局、名古屋市健康福祉局〕
- ギャンブル等依存症である者や家族等、より多くの方が気軽に相談できるよう、SNSを用いたチャットによる相談窓口を開設します。  
〔保健医療局〕
- 県精神保健福祉センターにおいて、ギャンブル等依存症の回復支援として、「ART-G」と「暮らし相談」を複合的に実施します。  
〔保健医療局〕
- こころぼそにおいて、ギャンブル等依存症の回復支援として、「NAT-G」を実施します。  
〔名古屋市健康福祉局〕
- また、県精神保健福祉センターにおいてギャンブル等依存症回復支援プログラム従事者養成研修、こころぼそにおいてギャンブル等依存症に関する基礎研修等を実施し、市町村、保健所職員等のギャンブル等依存症に関する知識及び支援技術等の向上を図ります。  
〔保健医療局、名古屋市健康福祉局〕

## ◇ギャンブル等依存症回復支援プログラムについて

### 【愛知県精神保健福祉センター実施プログラム】

#### ○名称

ART-G (あーとじー)

Aichi addiction Recovery Training program for Gambling disorder)  
(あいちギャンブル障害回復トレーニングプログラム)

#### ○対象者

- ・愛知県（名古屋市を除く）にお住まいの方
- ・ギャンブル等の楽しみ方を改めたい（やめたい）と考える方
- ・事前面接の結果、本プログラムを受けることが適当と認められた方

#### ○プログラム

全6回のプログラム（月1回、1回につき2時間）

令和7年度 愛知県ギャンブル等依存症回復支援事業

## <ART-G(あーとG)>

あいちギャンブル障害回復トレーニングプログラム  
Aichi addiction Recovery Training for Gambling Disorder

～ギャンブル等の楽しみ方を改めたいあなたのために～

ギャンブル等（パチンコ・スロット、競馬、競艇、競輪、カジノ、FX、投資等）に関わる問題で困って  
いませんか。どうすればよいか一緒に考えませんか。お気軽にご連絡ください。



誘惑に負けて  
しまいそう

ちょっとくらい  
やっだって、  
大丈夫かな…

やめつづけるためには、  
どんな生活をする  
いいのかなあ…

今はやめているけれど、  
またやりたくなるかも  
しれない…

日時：原則、毎月第2火曜日・第4月曜日 午後1時30分から3時30分まで  
※ 第2火曜日あるいは第4月曜日のいずれかの日程で月1回参加できます。グループは固定です。  
※ 第2火曜日・第4月曜日が祝日・休日に当たる場合には日程を変更します。11月、2月はご注意ください。

場所：愛知県精神保健福祉センター（名古屋市中区三の丸3-2-1 愛知県東大手庁舎8F）

対象：名古屋市を除く愛知県内にお住まいの方  
(名古屋市にお住まいの方を対象としたプログラムを、名古屋市精神保健福祉センターで実施しています。)

内容：ギャンブル等の楽しみ方を改めるために必要なことをグループで学び合います。

【お申し込み・お問い合わせ】愛知県精神保健福祉センター（052-962-5377）

ご家族の皆さんへ  
ご家族の相談にも応じています（面接は要予約）  
下記の相談電話をご利用ください。  
<ギャンブル等依存症の電話相談 052-951-1722>  
\*名古屋市にお住まいのご家族は、名古屋市精神保健福祉センターでご相談ください



## 【名古屋市精神保健福祉センター（こころぼ）実施プログラム】

### ○名称

NAT-G（なっとじー）

Nagoya Addiction recovery Training program for Gambling disorder  
（なごやギャンブル障害回復トレーニングプログラム）

### ○対象者

- ・名古屋市内にお住まいの方（在勤・在学含む）
- ・ギャンブル等の楽しみ方を改めたい（やめたい）と考える方
- ・事前面接の結果、本プログラムを受けることが適当と認められた方

### ○プログラム

全6回のプログラム（月1回、1回につき2時間程度）

# 令和7年度 NAT-Gのご案内

NAT-Gとは、Nagoya Addiction recovery TraininG for Gambling disorder（なごやギャンブル障害回復トレーニングプログラム）のアルファベットの頭文字をとったものです。通称「ナットジー」と呼ばれ、ギャンブル依存症からの回復プログラムです。

これは、アメリカで開発された薬物の再使用防止プログラムを基に、ギャンブル依存のプログラムとして改変された認知行動療法です。

このプログラムは島根県で研究開発され、ギャンブル依存症に対して有効なものであるとして、全国に広まったものです。名古屋市ではSAT-G（しまねギャンブル障害回復トレーニングプログラム）を基に名古屋での実施プログラムとしてNAT-Gと変更したものです。

令和7年度実施予定 毎月第3火曜日（8月のみ第2火曜日）

開催時間：14:00～16:00

	前期	後期	テーマ
1	4月15日	10月21日	あなたのギャンブルについて整理してみましょう
2	5月20日	11月18日	引き金から再開にいたる道すじと対処
3	6月17日	12月16日	再開を防ぐために
4	7月15日	1月20日	私の道しるべ
5	8月12日	2月17日	回復への道のり
6	9月16日	3月17日	アンコールセッション

※プログラムを始める前に、面接を実施します。まずはお電話でお問い合わせください。

参加費無料

### 参加対象

- ・名古屋市内にお住まいの方。（在勤・在学含む）
- ・自身のギャンブル等との付き合い方を改めたいと願う方



申込・問合せ先

名古屋市精神保健福祉センター 依存症相談窓口  
電話 052-483-3022 FAX 052-483-2029  
問い合わせ時間 8時45分～17時15分



## (2) 福祉関連従事者における適切な支援

### <現状及び課題>

- ギャンブル等依存症は適切な医療や支援により回復が十分可能である一方、ギャンブル等依存症である者等が依存症であるという認識を持ちにくいという特性があること、医療機関や相談支援体制が十分でないこと及び治療や支援に関する情報が得られにくいこともあるなどの理由により、ギャンブル等依存症である者等が適切な治療及び支援につながり難い場合があります。
- そのため、依存症は病気であり医療や支援が必要であることを普及啓発するだけでなく、潜在的にギャンブル等依存症である者等に対応する機会がある支援者の知識を向上させることにより、円滑な社会復帰に向けて、ギャンブル等依存症である者等を早期発見・早期介入し、適切な支援につなげる必要があります。
- 本県では、第2期県計画に示したとおり、女性相談支援センターの女性相談支援員、児童相談所職員等の福祉関連従事者において、以下のとおり、所定のガイドライン等に基づき対応と支援が実施されているほか、様々な課題に応じた研修機会などの活用により、適切にギャンブル等依存症に関する知識及び対応方法の周知が図られています。
- 女性相談支援センター（駐在室を含む）の女性相談支援員や市町村の女性相談担当は、依存症などの問題を掲げる者に対する適切な対応方法について記載された「女性相談支援員相談・支援指針」（2024年4月1日一部改訂）を活用し、ギャンブル等依存症について適切な対応を行っています。
- 本県及び名古屋市の児童相談所職員は、依存症などの問題を抱える保護者に対する児童相談所等における具体的な対応方法等について盛り込まれている「こども虐待対応の手引き」（2025年12月24日改正版）に基づき、ギャンブル等依存症を含む依存症などの問題を抱える保護者に対し、適切な対応を行っています。
- 発達障害者支援センター職員は、ギャンブル等依存症である者等の背景に発達障害が疑われる場合には相談に応じ、適切な相談機関や支援機関を案内しています。
- また、障害福祉サービス等に従事している者等に対しては、ギャンブル等依存症を含む精神障害について、精神障害者の障害特性と支援技法に関する研修などを実施しています。  
引き続き、福祉関連従事者について、ギャンブル等依存症に関する知識及び対応方法の向上を図る必要があります。

### <今後の取組>

- 福祉関連従事者は、相談等支援に当たって、ギャンブル等依存症問題が関係する場合には、ガイドラインや手引き等に基づき、様々な支援に関する案内に加え、治療機関や相談支援機関との連携を図る等、適切に対応します。

〔福祉局〕

- 本県においては、精神障害者の障害特性と支援技法に関する研修を始め、様々な課題に応じて行われる研修の機会などを活用し、福祉関連従事者に対して、ギャンブル等依存症に関する知識及び対応方法の向上を図ります。  
〔福祉局〕

### (3) 多重債務相談及び消費生活相談における的確な対応

#### <現状及び課題>

- 消費者庁及び金融庁においては、消費生活相談窓口及び地方公共団体等に設置されている多重債務相談窓口に対し、「ギャンブル等依存症が疑われる方やそのご家族からの多重債務問題に係る相談への対応に際してのマニュアル」（以下「対応マニュアル」という。）を周知し、現場での相談対応の円滑化及びギャンブル等依存症に関する相談拠点との連携体制を構築しています。
- 本県においては、第2期県計画で示したとおり、愛知県消費生活総合センターの多重債務相談及び消費生活相談で、対応マニュアル等を参考としつつ、適切に相談に応じること、こうした相談に応じる消費生活相談員等に相談事例等の研修を行うこと及び愛知県多重債務者対策協議会を活用し連携体制の構築を図ることについて、着実に実施しました。  
引き続き、多重債務相談及び消費生活相談の的確かつ円滑な対応を確保する必要があります。

#### <今後の取組>

- 愛知県消費生活総合センターにおいて、多重債務相談等を行うとともに、ギャンブル等依存症の関係が疑われる場合については、対応マニュアル等に基づき、適切な専門機関の紹介に努めます。  
〔県民文化局〕
- 研修会などの機会を活用し、消費生活相談員等に対して、ギャンブル等依存症に関する知識の向上や相談支援機関等に関する情報の提供に努めます。  
〔県民文化局〕
- 愛知県多重債務者対策協議会にギャンブル等依存症対策担当課が参画し、ギャンブル等依存症を背景とした多重債務問題について、関係者が連携して取り組みます。  
〔県民文化局〕

## (4) 生活保護担当ケースワーカーのギャンブル等依存症問題の知識向上

### <現状及び課題>

- 2013年の生活保護法改正においては、生活保護受給者が適切に家計の管理を行うようにするため、自ら生計の状況を適切に把握する責務が規定され、保護の実施機関は、必要に応じて、助言・指導等を行うこととされました。
- 保護の実施機関を担う生活保護担当ケースワーカーのギャンブル等依存症に関する研修については、特に2つが挙げられます。
  - 一つは、厚生労働省による生活保護担当ケースワーカー全国研修会、もう一つは、本県による初任者ケースワーカー等を対象とした生活保護関係職員研修です。いずれもギャンブル等依存症に関する知識の向上とその対応策の周知を含む内容です。
- 本県においては、第2期県計画に示したとおり、生活保護担当ケースワーカーについて、全国研修会や本県生活保護関係職員研修などにより、ギャンブル等依存症に関する知識等の修得を図っています。
  - 引き続き、両研修などの活用により、生活保護担当ケースワーカーのギャンブル等依存症に関する知識等の修得を図る必要があります。

### <今後の取組>

- 国の行う生活保護担当ケースワーカー全国研修会や県が行う生活保護関係職員研修の機会などを活用し、生活保護担当ケースワーカーに対して、ギャンブル等依存症に関する知識の修得等を図ります。  
〔福祉局〕

## (5) 関係事業者における相談支援や治療につなぐための取組

### <現状及び課題>

- 公営競技では、ギャンブル等依存症の相談窓口として、全国公営競技施行者連絡協議会により、「公営競技ギャンブル依存症カウンセリングセンター」が設置され、全国モーターボート競走施行者協議会により、「ギャンブル依存症予防回復支援センター」が設置されています。
- 県内公営競技施行者は、第2期県計画に示したとおり、ポスター、リーフレット及びウェブサイト等の様々な媒体を通じて、これらの相談窓口の周知を図っていますが、引き続き、十分な周知を図る必要があります。
- ぱちんこでは、ギャンブル等依存症の相談窓口として、パチンコ・パチスロ産業21世紀会の支援により、リカバリーサポート・ネットワーク（以下「RSN」という。）が設置されています。また、ぱちんこ営業所には、ぱちんこ依存症防止対策の専門員である「安心パチンコ・パチスロアドバイザー」の配置が進んでいます。
- 県内ぱちんこ営業者は、第2期県計画に示したとおり、ポスターやリーフレット等の様々な媒体を通じて、「安心パチンコ・パチスロアドバイザー」の周知を図っていますが、引き続き、「安心パチンコ・パチスロアドバイザー」の配置を進めつつ、十分な周知を図る必要があります。
- なお、本県警察本部においては、県内ぱちんこ営業者に対し、風営適正化法に基づく管理者講習等により、客に対する情報の提供として、依存症防止に関する相談窓口等の店内掲示や広告掲載等の取組も重要な施策の一つとして指導しています。
- 県内関係事業者における相談支援や治療につなぐための取組は次のとおりです。

### ○愛知県競馬組合（名古屋競馬場）における取組

- ・「公営競技ギャンブル依存症カウンセリングセンター」等の相談窓口について、競馬場及び場外勝馬投票券売場でポスター、リーフレット及びウェブサイト等により周知
- ・相談窓口である愛知県競馬組合総務広報課総務係について、出走馬一覧表に電話番号を掲載

### ○JRA 中京競馬場における取組

- ・「公営競技ギャンブル依存症カウンセリングセンター」の相談窓口等を掲載した啓発リーフレット「競馬をお楽しみいただくに際して～ギャンブル障害について～」(日本中央競馬会(JRA)本部作成)を競馬場の来場者に配布
- ・「公営競技ギャンブル依存症カウンセリングセンター」等の相談窓口を掲載したポスター(日本中央競馬会(JRA)本部作成)を競馬場内に掲示
- ・啓発週間において、場内モニターで啓発週間の告知とともに、「公営競技ギャンブル依存症カウンセリングセンター」を紹介

#### 出走表による相談窓口の案内〔愛知県競馬組合〕

馬券は20歳になってから  
ほどよく楽しむ大人の遊び

相談窓口 0570-007-221(ナビダイヤル) 愛知県競馬組合 総務広報課 総務係  
10:00~17:00(月曜日~金曜日 但し、祝休日、年末年始を除く)

### ○ポートレース蒲郡における取組

- ・「ギャンブル依存症予防回復支援センター」等の相談窓口について、競走場及び場外舟券売場でポスター、リーフレット及びウェブサイト等により周知
- ・ギャンブル等依存症担当者の配置及び依存症相談窓口運用マニュアルの整備による相談等への対応

### ○ポートレースとこなめにおける取組

- ・「ギャンブル依存症予防回復支援センター」等の相談窓口について、競走場及び場外舟券売場でポスター、リーフレット及びウェブサイト等により周知
- ・ギャンブル等依存症担当者の配置及び依存症相談窓口運用マニュアルの整備による相談等への対応

#### 場内での相談窓口の案内〔ポートレース蒲郡〕





### <今後の取組>

- 県内関係事業者は、公営競技場及びぱちんこ営業所等において、相談対応や相談窓口の周知を行います。
- 愛知県遊技業協同組合は、「安心パチンコ・パチスロアドバイザー」について、配置を推進しつつ、ポスター掲示やリーフレット配布等により、客やその家族等に周知を図ります。
- 県内ぱちんこ業者に対して、風営適正化法に基づく管理者講習等により、客に対する情報の提供として、依存防止に関する相談窓口等の店内掲示や広告掲載等の取組の重要性を指導します。

〔警察本部〕

## 2 家族への支援

### <現状及び課題>

- ギャンブル等依存症は、ギャンブル等に必要な資金を得るために借金を重ねる場合も多く、ギャンブル等依存症である者のみならず、その家族の生活に多大な支障を生じさせることがあります。
- また、ギャンブル等依存症は「否認の病」と言われることもあり、ギャンブル等依存症である者が自ら相談窓口や医療機関につながるものが難しく、家族等の周囲からの働きかけが重要であると言われています。
- 県精神保健福祉センターでは、ギャンブル等依存症に関する相談を実施していますが、家族からの相談件数は、全体の半分程となっていることから、ギャンブル等依存症である者だけでなく、その家族への支援も重要であると言えます。

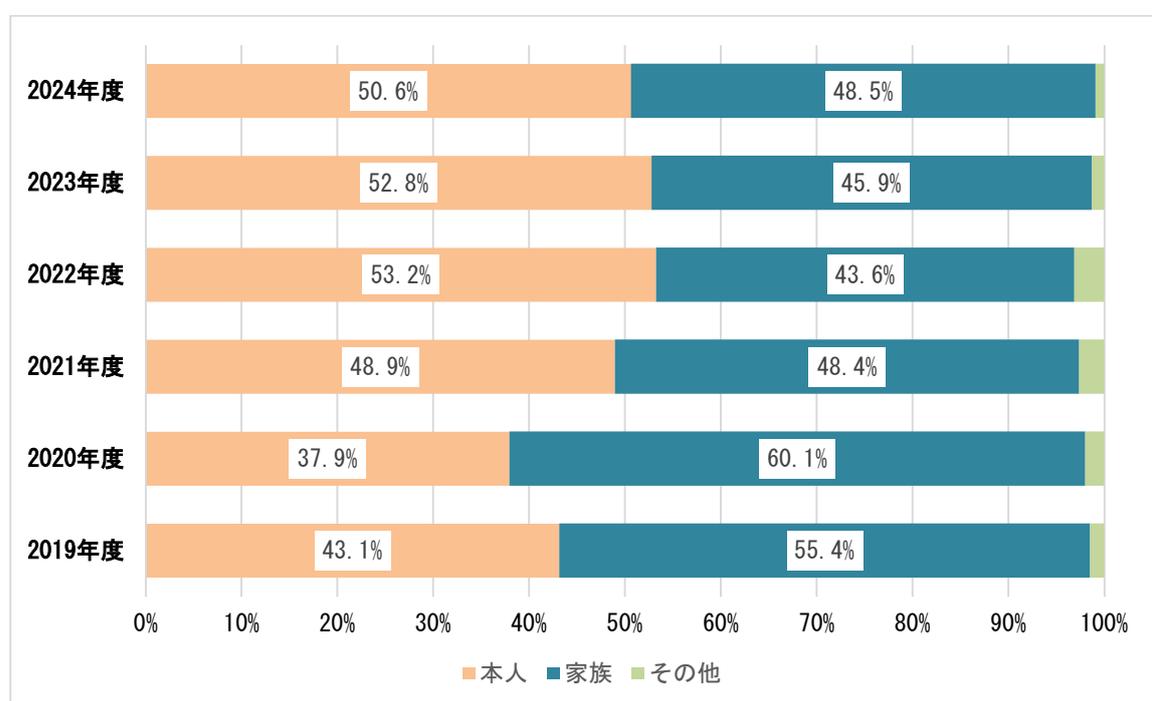


図7 ギャンブル等依存症に関する相談における相談者の内訳(愛知県精神保健福祉センター)

- また、県内関係機関調査では、ギャンブル等依存症対策推進に当たっての課題として、「本人の受診や相談が少ないこと」が挙げられており、「家族が相談できる場や学べる研修等の実施」の必要性が指摘されています。
- こうした課題を踏まえて、第2期県計画に示したとおり、ギャンブル等依存症である者の家族への支援として、主に以下の取組を着実に実施しました。
  - ・ 県内関係事業者における家族申告によるアクセス制限の運用と周知
  - ・ 県精神保健福祉センター、こころば及び保健所における家族相談の実施
  - ・ 県精神保健福祉センター及びこころばによる家族が依存症を学ぶための講演会や家族教室の実施
  - ・ 県精神保健福祉センターによるギャンブル等依存症対策関係機関連絡会議において県内関係事業者と相談支援機関との円滑な連携を調整

このほか、自助グループを始めとした民間団体による家族相談や講演会等のイベントも展開されています。

- 引き続き、家族にギャンブル等依存症に関する正しい知識や理解の浸透を図りつつ、適切な支援窓口に円滑につなぐため、家族への支援について、一層の充実を図る必要があります。

#### ＜今後の取組＞

- 県内関係事業者において、家族申告によるアクセス制限及び「公営競技ギャンブル依存症カウンセリングセンター」等の家族も活用できる相談支援などの周知を図ります。
- 県精神保健福祉センター及びここらぼにおいて、ギャンブル等依存症である者の家族を対象とした講演会等を実施し、家族相談の機会の充実を図ることにより、適切な支援窓口への円滑な案内に取り組みます。

〔保健医療局、名古屋市健康福祉局〕

- 消費者庁が示している消費者向けの啓発用資料等について、愛知県消費生活総合センターの消費生活情報コーナーに配架するとともに、市町村の消費生活センター等に対して、その活用の働きかけなどに努めます。

〔県民文化局〕

- 県精神保健福祉センターによるギャンブル等依存症対策関係機関連絡会議において、関係事業者と相談支援機関等との円滑な連携体制の構築を図ることで、家族申告によるアクセス制限を申請した家族等に対し、必要に応じて相談窓口や治療機関につなぐ仕組づくりに取り組みます。

〔保健医療局〕

### 3 医療提供体制の整備

#### <現状及び課題>

- ギャンブル等依存症は適切な医療や支援により回復が十分可能ですが、ギャンブル等依存症の専門医療機関や専門医の不足等から、ギャンブル等依存症である者等が地域で必要な医療を受けられる体制は十分ではありません。
- 都道府県・政令指定都市については、「依存症専門医療機関及び依存症治療拠点機関の整備について」（平成29年6月13日付け障発0613第4号厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知）により、専門的な医療を提供する依存症専門医療機関及び研修や情報発信等を行う依存症治療拠点機関を選定し、医療提供体制の整備を進めることとされています。
- 第2期県計画期間中において、県は、2023年4月に刈谷病院及び藤田医科大学病院を依存症専門医療機関として、2025年4月に刈谷病院を依存症治療拠点機関として選定しました。また、名古屋市は、2025年9月に一ツ山クリニックを専門医療機関として選定しました。

表2 県内の依存症専門医療機関等の選定状況

	依存症専門医療機関	依存症治療拠点機関
	国や県が行う依存症に関する研修を修了した医師等を配置し、専門的な医療を提供する医療機関	専門医療機関のうち、医療機関を対象とした研修等を行う地域の治療拠点となる医療機関
2018	西山クリニック（名古屋市）	西山クリニック（名古屋市）
2019		
2020	西山クリニック（名古屋市）	
2021	堀クリニック（刈谷市）	
2022		
2023	<b>刈谷病院（刈谷市）</b> 西山クリニック（名古屋市）	西山クリニック（名古屋市）
2024	<b>藤田医科大学病院（豊明市）</b> 堀クリニック（刈谷市）	
2025	刈谷病院（刈谷市） 西山クリニック（名古屋市） <b>一ツ山クリニック（名古屋市）</b> 藤田医科大学病院（豊明市） 堀クリニック（刈谷市）	
		<b>刈谷病院（刈谷市）</b> 西山クリニック（名古屋市）

※太字は第2期県計画期間（2023～2025年度）に新たに選定したものの

- 県及び名古屋市は、依存症治療拠点機関においてギャンブル等依存症医療研修を実施し、医療従事者がギャンブル等依存症の知識と対応について学ぶ機会を設け、人材養成を図っています。なお、同研修を修了した医師等の配置は、依存症専門医療機関の選定要件の一つとなっています。
- また、県は、依存症に関する診療体制の充実・強化を図るため、2025年10月に、多様な依存症に対応できる医師を養成する「依存症医学寄附講座」を藤田医科大学に設置しました。

- このほか、愛知県地域保健医療計画において、多様な精神疾患等に対応できる医療機能の明確化をすることとしており、ギャンブル等依存症を含む各精神疾患について対応できる医療機関を調査し明らかにしています。
- 引き続き、ギャンブル等依存症である者が地域で適切な医療を受けられるようにするため、依存症専門医療機関等の拡充を図り、地域における依存症の医療提供体制の整備に努める必要があります。

#### <今後の取組>

- 依存症治療拠点機関において、医療機関等を対象とした依存症医療研修を実施し、医療従事者等の人材養成及び依存症専門医療機関等の拡充に努めます。  
〔保健医療局、名古屋市健康福祉局〕
- 依存症治療拠点機関において、医療機関等を対象とした専門相談事業を実施し、医療従事者等の資質向上に努めます。  
〔保健医療局、名古屋市健康福祉局〕
- 藤田医科大学に、依存症医学寄附講座を設置し、多様な依存症に対応できる医師を養成します。  
〔保健医療局〕
- 藤田医科大学において、専門医療機関等を対象とした研修や連携会議を実施し、人材養成及び医療機関同士の連携推進に取り組みます。  
〔保健医療局〕
- 依存症治療拠点機関において、外来や入院治療を行うとともに、患者を地域の支援団体へつなぐなど、支援団体と連携した受診後の支援を実施します。  
〔保健医療局〕
- 愛知県地域保健医療計画に基づく、多様な精神疾患等に対応できる医療機能の明確化に関する取組として、ギャンブル等依存症に対応できる医療機関を調査し、結果についてウェブサイト等により公表します。  
〔保健医療局〕

## ◇依存症医療研修の開催状況

### 【愛知県 [委託先：刈谷病院（ギャンブル等依存症治療拠点機関）]】

	日にち	方法	内容
1日目	2025年 8月31日	オンライン	・ギャンブル等依存症概論 ・ギャンブルによる借金問題について 等
2日目	2025年 9月15日	対面 (刈谷病院)	・ギャンブル依存症回復プログラムの実際 ・依存症患者への動機づけ面談の実際 等

**【愛知県委託事業】**

### 令和7年度愛知県依存症医療研修（ギャンブル等依存症）

日ごろの診療においてギャンブル問題のある患者さんの対応でお困りなことはありませんか？  
本研修は依存症をはじめとするギャンブル関連問題に対し、知識を深め適切な治療・対応が行える人材育成を目的に年一回開催しています。  
ともに学び情報を共有する機会として、ぜひご参加ください。

※本研修は、愛知県依存症専門医療機関選定基準における申請医療機関の医療従事者が受講すべき所定の研修の一つです。  
※2日間全日程を受講された方には修了証書を発行します

**開催日** 8月31日（日）9：15～16：30（オンライン）  
（9：00より受付開始）

9月15日（月）9：30～16：40（対面形式）  
（9：15より受付開始）

**会場** 9月15日（月）：医療法人成精会 刈谷病院 大会議室  
（刈谷市神田町2丁目30番地）

**対象者** 愛知県内の精神科医療機関の医療従事者  
（医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、臨床心理技術者等）  
※原則として名古屋市を除く。

**受講定員** 50名（先着順）※2日間受講できる方を優先

**研修日程** 別紙研修日程をご参照ください

**申込み** 令和7年8月11日（月）〆切 ※定員になり次第締め切ります  
＜申込方法＞※事前申込みが必要です  
申込受付はインターネットのみで行います  
裏面の受講申込URLまたはQRコードよりお申込みください

**問合せ先** 医療法人成精会 刈谷病院内 刈谷アディクションセンター 家城  
〒448-0851 愛知県刈谷市神田町二丁目30番地  
メールアドレス [a-center@kariva-hp.or.jp](mailto:a-center@kariva-hp.or.jp)  
電話番号 (0566)21-2500（直通） FAX (0566)21-3536

新型コロナウイルス等感染症の動向、または台風等の理由で公共交通機関に影響が出ると判断された場合、開催方法がオンラインに変更になる可能性があります。詳しくは啓発サイトのお知らせにご案内します。  
愛知県依存症治療拠点機関啓発サイト <https://addiction-aichi.jp>（左記URLまたはQRコードよりご

**参加費  
無料**





▲2025年9月に開催した研修の様子

【名古屋市〔委託先：西山クリニック（ギャンブル等依存症治療拠点機関）〕】

	日にち	方法	内容
1日目	2025年 1月19日	対面 (西山クリニック)	・ギャンブル依存症への理解と支援 ・弁護士が借金問題に関わる時 等
2日目	2025年 2月16日	対面 (西山クリニック)	・GAについて（モデルミーティング） ・グループディスカッション 等

(名古屋市委託事業)

参加費  
無料

名古屋市依存症支援者研修会（ギャンブル依存症）  
ギャンブル依存症の理解と支援

アルコール、薬物、ギャンブル等の依存症は、適切な治療と支援により回復が可能な病気です。しかし、依存症者は様々な理由から、必要な治療を十分に受けられないと同時に、関わる医療従事者も日々大変な状況で援助にあたっています。今回は、ギャンブル依存症の研修会を開催したいと思います。全国でも先駆的な取り組みをしている方々をお呼びして、盛りだくさんの内容にしておりますので、みなさんお誘いあわせの上、ぜひご参加下さい。

日程

令和7年 1月19日（日曜）  
10:00～17:00（開場9:30）  
令和7年 2月16日（日曜）  
10:00～15:50（開場9:30）

会場

西山クリニック  
2F デイケア

(名古屋市中東区上社1-704)

ご不明な点はお問い合わせください。



定員 40名

○定員になり次第締め切ります。定員を超えた場合お断りの連絡をさせていただきます。

対象

○病院・診療所・訪問看護ステーションの医療従事者

医療従事者とは、医師、看護師、精神保健福祉士、社会福祉士、作業療法士、心理技術者（公認心理師、臨床心理士）、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、言語聴覚士

○相談支援事業所等の精神保健福祉士、社会福祉士

※上記対象者は名古屋市から依存症専門医療機関に係る研修に参加した修了証が発行されます。

○名古屋市在勤の方を対象とした研修会です。

参加費 無料

申し込み方法

(申込締切日：令和7年 1月10日 金曜)  
QRコードまたはメールにてお申込みください。  
(Email: [nishiyamacl.kyoten@gmail.com](mailto:nishiyamacl.kyoten@gmail.com))

記載事項：氏名（フリガナ）、生年月日、所属、職種、経験年数、修了証送り先住所、電話番号



※申込みを受付後、メールにて返信させていただきます。

1週間過ぎても返信がない場合はお問い合わせ下さい。

※研修は2日間開催します。

当日の問い合わせ先：052-776-2300

## 4 民間団体の活動に対する支援

### <現状及び課題>

- ギャンブル等依存症の自助グループとしては、ギャンブル等依存症である者本人の集まりであるギャンブラーズ・アノニマス（以下「GA」という。）やギャンブル等依存症である者の家族等の集まりであるギャマノン、ガーファ等があり、「言いつ放し、聞きつ放し」を原則として、自分の考えや悩み等を述べ、経験を共有するミーティングを県内で開催しています。
- ギャンブル等依存症から回復することは、本人や家族一人だけでは難しいため、同じ目的を持った仲間と一緒に回復に取り組むことができるよう、自助グループにつながる必要があるとされています。

表3 県内の本人や家族を対象としたグループ

団体名	主な活動内容
GA (ギャンブラーズ・アノニマス)	・ギャンブルをやめたいという願う人のための自助グループ。全国でミーティングを実施。
GAM-ANON (ギャマノン) GAFA (ガーファ)	・ギャンブルに問題を持つ人の家族や友人のための自助グループ。全国でミーティングを実施。
公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会 (当事者支援部)	・ギャンブル依存症から回復し続けている当事者で構成され、オンラインミーティングや全国で当事者相談会を開催し、借金問題などの困りごとを解決するピアサポートを実施。
一般社団法人ギャンブル依存症家族の会愛知	・ギャンブル依存症の家族の集まり。愛知県内でセミナーや家族相談会を開催し、困りごとを解決するピアサポートを実施。

- また、そのほかに、ギャンブル等依存症に関するセミナーや相談支援等を行う民間団体も県内で活動しています。
- 本県及び名古屋市においては、2018年度より自助グループを含む民間団体による以下の活動について、その活動の一部を助成する支援を行っています。
  - ① ミーティング会場の提供など、ギャンブル等依存症である者等やその家族が互いの悩みの共有や情報交換ができる交流活動
  - ② 医療、保健、行政等の専門機関に関する情報提供など、ギャンブル等依存症を抱える者やその家族の問題の解決に資する情報提供
  - ③ ギャンブル等依存症の理解を促進する刊行物発行の費用援助など、ギャンブル等依存症に関する普及啓発活動
  - ④ 自助団体に対する相談技術の援助、相談活動の会場提供など、ギャンブル等依存症に関する問題の相談を受ける活動の支援
- また、ここらぼにおいては、民間団体等の活動内容に関する発表機会の提供と普及啓発を目的とした「アディクション・セッション」を実施しています。
- 本県及び名古屋市においては、第2期県計画に示したとおり、ギャンブル等依存症の回復等に重要な役割を担う地域の貴重な社会資源である民間団体について、活動の周知や助成に加え、啓発事業の連携等に着実に取り組んでいます。

- 引き続き、民間団体について、様々な機会を活用し、意見を十分に聴取しつつ、活動の支援と連携の強化を図る必要があります。

### <今後の取組>

- 民間団体について、様々な機会を活用し意見を十分に聴取しつつ、回復支援活動等の周知や啓発事業を始めとした幅広い連携を図ります。  
〔保健医療局〕
- 民間団体の活動に対し、その活動の一部を助成する支援を行うとともに、県民が民間団体を必要に応じて活用できるよう、ウェブサイト等による積極的な周知を図ります。  
〔保健医療局、名古屋市健康福祉局〕
- こころぼにおいて、「アディクション・セッション」を実施し、民間団体の活動内容に関する発表機会の提供と普及啓発を図ります。  
〔名古屋市健康福祉局〕

### ◇ギャンブル依存症家族の会愛知の取組

#### ・名称

一般社団法人 ギャンブル依存症家族の会愛知

#### ・設立

2022年1月（2025年7月法人化）

#### ・主な活動場所

名古屋市、刈谷市など愛知県全域

#### ・主な活動内容

愛知県内にて毎月「家族の会」を開催（尾張地区及び三河地区）。

家族や当事者の体験談をはじめ、ギャンブル依存症に関する基礎知識や、回復施設、医療・行政機関、自助グループなどの連携先の情報提供などを行います。

毎回困りごとを相談する時間を設けており、全国の事例・経験をもとに一人一人に合ったオーダーメイドの解決策を一緒に考えて提供しています。

※同時間・別室会場で「当事者会」も実施、「預かり保育」もあります。

#### ・問い合わせ先

電話 070-8493-6525（松本）

メール [gdfam.aichi@gmail.com](mailto:gdfam.aichi@gmail.com)

URL <https://gdfam.org/group/aichi/>

※「家族の会」の開催日時・場所等はウェブページでご確認下さい。



▲2025年5月に開催したセミナーの様子

## 5 社会復帰支援

### (1) 就労支援関係者のギャンブル等依存症問題の知識の向上

#### <現状及び課題>

- ギャンブル等依存症は適切な医療や支援により回復が十分可能である一方、ギャンブル等依存症である者等が依存症であるという認識を持ちにくいという特性があること、医療機関や相談支援体制が十分でないこと及び治療や支援に関する情報が得られにくいこともあるなどの理由により、ギャンブル等依存症である者等が適切な治療及び支援につながり難い場合があります。
- そのため、円滑な社会復帰に向けて、依存症は病気であり医療や支援が必要であることを普及啓発するだけでなく、潜在的にギャンブル等依存症である者等に対応する機会のある就労支援関係者が知識を習得することにより、ギャンブル等依存症である者等を早期発見し、適切な支援につなげる必要があります。
- 求職者については、ギャンブル等依存症であっても、本人の自覚がなく医療機関等で診断・治療を受けていない場合があるため、求職者に対して、ギャンブル等依存症に関する周知・広報を行う必要があります。
- 本県においては、第2期県計画に示したとおり、ヤング・ジョブ・あいち等の就労支援関係者に対して、様々な研修の活用等により、適切にギャンブル等依存症に関する知識及び対応方法の周知を図っています。  
引き続き、就労支援関係者について、ギャンブル等依存症に関する知識及び対応方法の向上を図る必要があります。

#### <今後の取組>

- 県精神保健福祉センターによる研修の機会などを活用し、ヤング・ジョブ・あいち等の就労支援窓口の就労支援関係者に対して、ギャンブル等依存症に関する知識及び対応方法の向上を図ります。  
〔労働局〕
- ヤング・ジョブ・あいち等の就労支援窓口において、ギャンブル等依存症問題に関するリーフレット等を活用し、ギャンブル等依存症により悩んでいる求職者等に対しギャンブル等依存症問題や相談支援機関・治療機関に関する情報を伝え、適切な支援につなげられるよう努めます。  
〔労働局〕

## (2) ギャンブル等依存症問題を有する生活困窮者の支援

### <現状及び課題>

- 生活困窮者については、ギャンブル等依存症問題も含め、複合的な課題を抱える場合があるため、生活困窮者自立支援法（平成 25 年法律第 105 号）に基づく自立相談支援事業を中心に、就労、家計等に関する包括的な支援のほか、他の専門機関と連携して、相談者の状態に応じたきめ細かな支援が行われています。
- そのため、生活困窮者自立支援法に基づく事業に従事する支援員が、ギャンブル等依存症問題を有する生活困窮者に対し、その特性を踏まえた適切な支援を行えるよう、ギャンブル等依存症問題に関する知識等を修得することが必要です。
- 本県においては、第 2 期県計画に示したとおり、生活困窮者自立支援法に基づく事業に従事する支援員に対して、関連研修の機会の活用等により、適切にギャンブル等依存症に関する知識及び対応方法の向上を図っています。  
引き続き、生活困窮者支援に従事する支援員について、ギャンブル等依存症に関する知識及び対応方法の向上を図る必要があります。

### <今後の取組>

- 国や県が実施する生活困窮者自立相談支援事業従事者養成研修の機会などを活用し、生活困窮者支援に従事する支援員に対して、ギャンブル等依存症に関する知識と対応方法の向上を図ります。

〔福祉局〕